

カンキツ主要品種の結実管理に要する時期別作業時間

[要約] 「岩崎早生」は粗摘果及び仕上げ摘果時期に、「原口早生」と「橋川温州」は仕上げ摘果時期に最も労力を必要とする。「久能温州」と中晩生カンキツ（スイートスプリング、宮内イヨカン、吉田ボンカン）は収穫時期に最も労力を必要とする。

長崎県果樹試験場・常緑果樹科	専門	栽培	対象	果樹類	分類	指導
----------------	----	----	----	-----	----	----

資料名：平成10年度長崎県果樹試験場業務報告

[背景・ねらい]

カンキツ栽培において、品種の組み合わせによって結実管理労力の分散と軽減を図るためには、各品種の時期別作業時間及び品種を組み合わせた経営での時期別作業時間を明らかにする必要がある。そこで、場内の温州ミカン（岩崎早生、原口早生、橋川温州、久能温州）、スイートスプリング、吉田ボンカン、宮内イヨカンの摘果・収穫に要する時間を基に、月別の作業時間を明らかにする。また、極早生温州、早生温州、普通温州、中晩生カンキツを組み合わせた経営における月別労働時間を明らかにする。

《品種・系統別想定作業時期(月・旬)》

品種・系統名	粗摘果	仕上げ摘果	樹上選果	収穫
岩崎早生	6.上～6.下	7.中～7.下	8.上～8.下	10.上～10.中
原口早生	6.中～7.上	8.上～8.中	9.上～9.中	10.下～11.中
橋川温州	6.中～7.上	8.上～8.中	9.上～9.中	11.中～11.下
久能温州	6.下～7.下	8.中～9.上	9.中～10.上	11.下～12.上
宮内イヨカン	6.下～7.上	7.中～7.下	8.上～8.下	12.中～12.下
スイートスプリング	6.下～7.上	7.中～8.上	8.下～9.中	12.中～12.下
吉田ボンカン	6.下～7.上	7.中～8.上	8.下～9.中	12.中～12.下

[成果の内容・特徴]

- ①「岩崎早生」の月別作業時間は、粗摘果及び仕上げ摘果時期の6月～7月及び収穫時期の10月が多い。「原口早生」、「橋川温州」では、仕上げ摘果時期の8月と収穫時期の11月に最も労力を必要とし、着果が多かった年は6月、7月及び9月にも摘果作業に労力を必要とする。「久能温州」は、7月～9月と11、12月の作業時間が大きかった。中晩生カンキツでは、摘果時期の7月と収穫時期の12月に最も労力を必要とする(表1)。
- ②極早生温州、早生温州、普通温州、中晩生カンキツを組み合わせた経営を想定し、結実管理労力を試算したところ、収穫時期よりも摘果時期に労力が不足する傾向が見られる(表2)。

[成果の活用面・留意点]

- ①カンキツ品種の組み合わせにより、自家労力の有効活用を図る。

[具体的データ]

表1 主要品種・系統の月別結実管理労力*

品種・ 系統名	月別労働時間(hr/10a)								月別労働時間割合(%)							
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
岩崎早生	43	45	20	0	46	0	0	154	28.0	29.0	13.0	0.0	30.0	0.0	0.0	
〃	24	28	7	0	35	0	0	95	25.5	29.9	7.5	0.0	37.1	0.0	0.0	
原口早生	9	9	18	6	10	20	0	71	11.9	11.9	25.2	8.8	14.0	28.1	0.0	
橋川温州	11	11	27	8	0	36	0	95	12.0	12.0	28.8	8.7	0.0	38.4	0.0	
久能温州	5	16	21	17	3	35	35	133	4.0	11.9	15.8	13.1	2.6	26.4	26.4	
宮内イヨカン	8	20	5	0	0	0	24	57	14.3	35.1	8.2	0.0	0.0	0.0	42.4	
同 若木	6	14	6	0	0	0	19	45	13.8	31.4	12.8	0.0	0.0	0.0	41.9	
スイートスプリング*	4	10	4	2	0	0	26	44	8.6	21.7	8.3	3.5	0.0	0.0	57.9	
吉田ホソカン	12	16	4	4	0	0	47	82	14.3	19.0	4.7	4.7	0.0	0.0	57.3	

* 1994～1997年の平均摘果，収穫時間を基に試算

表2 結実管理労力を基に試算した労働時間収支*

品種区分	平均年 [†] (hr/10a)								摘果時間最多年 [‡] (hr/10a)							
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
極早生温州	169	199	50	0	247	0	0	335	265	147	0	290	0	0		
早生温州	42	42	90	31	50	100	0	94	94	88	140	57	114	0		
普通温州	42	126	169	139	28	281	281	56	169	174	254	84	246	246		
中晩生柑橘	41	101	23	0	0	0	122	43	82	25	0	0	0	130		
過不足	126	-34	103	249	110	39	31	-108	-177	0	26	4	59	58		

* 極早生:70a，早生:50a，普通:80a，中晩柑:50aの経営規模を想定
自家労力2.5人，日労働時間8時間，結実管理投入時間を70%として試算
普通温州は久能温州，中晩生カンキツは宮内イヨカンのデータをもとに試算

† 1994～1997年の平均摘果，収穫時間を基に試算

‡ 1994～1997年の摘果時間最長年の摘果，収穫時間を基に試算

[その他]

研究課題名：熟期調節新作型による管理労力分散技術の開発

予算区分：国庫（地域基幹）

研究期間：平成10年度（平成6年～10年）

研究担当者：濱口壽幸

発表論文等：なし